

分裂を助長する結果を生じたがグルントウイツヒの國民高等學校は最初から大衆の教育を眼目とした所から獨逸と正反對の方向に發達した。獨逸の新人文主義が貴族的色彩を生じたとすれば丁抹の國民高等學校は同じ新人文主義の精神と一致しながら而かも民衆的色彩が著しい。これは民本的人文主義の一般的陶冶と名づける事が出来る。

私が國民高等學校の本領の第四の方面として擧げたやうに國民文化の淵藪と見れば此の教育は正さに其の國の大學の任務を盡してゐるものと言はねばならぬ。丁抹國民高等學校に國民大學の名稱が適當であるかないかについては既に一應意見を述べた通りである。グルントウイツヒが最初にソロエーの官立高等學校を改造しようとした計畫が實現したものとすれば夫れは正に國民大學と名附けらるべきものであつた。グルントウイツヒは當時の大學教育が少數の階級に制限せられてゐるのを慨歎して階級や貧富の別を問はず全國を通じて國民中の知能の優れた青年を網羅しようと考えた。これは知能本位の俊才教育の思想であつて歐洲大戰中獨逸に起つた「有能者に途を開け」といふ標語を以て絶叫された教育機會均等の要求と其の歸着點を一にする。グルントウイツヒの最初の計畫が豫期通りに實現

されたとすれば其の結果は實質内容に於て單に大學入學者の範圍を擴張したといふ事實に過ぎなかつたであらう。グルントウイツヒの精神に共鳴して實際に全國の農村に起つた國民高等學校はコールド式の學校であつて、グルントウイツヒの理想とは遙かに隔りがあつたが丁抹國民高等學校の本體と見るべきものは固より此の方である。コールド式の學校は寧ろ農民學校とも言ふべきものであつて國民大學の名を冠することはふさはしくない。唯後に出來たアスコフ擴張國民高等學校に至つては普通の國民高等學校を卒へたものが更に二年の修學をなし其の卒業者は代議士にもなれば國務大臣や官吏にも教師にもなる位であるからこれを國民大學と名づけることは寧ろ適當である。

要するに丁抹の國民高等學校に入學する青年は滿十八歳以上を原則とするから其の年齢は丁度文明諸國で大學に在學する年齢に相當する。グルントウイツヒも從來の制度で中流以上の子弟が大學の教育を受ける年齢に相當する農村の子弟に大學に相當する教育を施さうとするのが最初の計畫であつた。大學教育を受ける年齢の農村の青年に大學の教育と同じ實質の教育を施さうといふ意味に於ては矢張り國民大學と名づけねばならぬ。併しグル



ントウイツヒの所謂國民大學は専門の知識を授ける事が目的でもなく學術の研究が目的でもない。即ち官吏や學者技師を養成するのではなくて國民として將又人間として一層高い人生觀と世界觀とを作らうとした。科學的の學問や専門的研究家を養成するのではなくて人格の根柢を培養して國民思想を堅實にしようとする高等普通教育即ち一般的陶冶を狙つてゐた。つまり専門教育と普通教育とを兼備する人物養成を主とする所から言へば丁抹の國民大學は英國の大學と共通點を有する。今強いて兩者の差異を言へば丁抹の國民高等學校は獨逸大學の學術研究の精神に影響されてゐる事である。グルントウイツヒは文化發達の基礎として自然科學の價値を認め自然科學に通じなければ文化を理解する事が出来ぬと考へた。此の意義に於て國民高等學校の教科中に自然科學が加はつてゐる。

丁抹の國民高等學校を國民大學と見れば英國大學に類した人物養成本位即ち人格陶冶を主とした大學であつて其の授くる教科は悉く此の大目的に従屬するのである。換言すれば農民の人格を向上充實して其の國民生活を一層有意義ならしめるのである。

グルントウイツヒと國民高等學校と題した一章の中に既に一言して置いたやうに國民高等學校の内容はグルントウイツヒの人格の内容の反映と見てもよい位である。學校の教科も其の教育法も主としてグルントウイツヒの閱歷體驗から割り出されてゐると言つても過言ではない。國民高等學校には宗教といふ科目を特設しないにも拘らず教會の擴張事業とも言はれる程宗教的の信念の陶冶に重きを置いてゐる事はグルントウイツヒ自身が牧師の家に生まれ宗教家として教育され大學生時代に一時懷疑思想に囚はれて幼時の信仰を失ひ一旦は僧籍を脱したものの、深刻な煩悶試練を経て再び堅固の信仰に立歸つて熱烈な信者となつた閱歷を考へれば此の意味は釋然として理解される。グルントウイツヒが強い信念に生きて居たやうに國民高等學校生活は全體として基督教的信念の基礎に立つてゐる。グルントウイツヒ自身が歴史家であり詩人であつたといふ事實を味へば國民高等學校の教科中で國史と國文（殊に詩）とが最も重要な科目であるといふ意義が自ら明瞭である。グルントウイツヒ自身が國史國文の中に國民精神の發揮と理想とを見出した體驗が彼をして國史國文を以て國民精神作興に有效な教科と考へしめた事は何人も理解に難くない。



## 二 國民高等學校の教科

國民高等學校を農村青年の國民生活訓練所と見れば國民生活即ち人生其れ自身は生徒に取つて此上もない生きた教材である。生きた國民生活其の物を理解體得して根柢ある人生觀を作り、人格の内容を向上充實する事が國民高等學校教育の眼目であつて死んだ書物を教へ又は専門の知能技能を傳授することは其の狙ふ所ではない。随つて國民生活に表はれて來る社會文化各方面の實際問題は一として國民高等學校の教材とならぬものはない譯である。併し學校創設の當時から傳統的に重く見られてゐるものを強いて普通の學校の教科目に倣つて列擧して見れば國史及び國語の二つを中心とする者と言はねばならぬ。尙此前に之に附帶して法制經濟社會問題のやうな文化的教材、自然科學、數學、唱歌、體操がある。

(一) 國史教授 國史の教授は歴史の科學的研究でもなければ文化發達史又は歴史哲學でもなくまして斷片的表面的の史實の記憶でもない。國史の背後に流れて國史を作り出す原動力となつてゐる國民精神を理解さす爲である。乾燥な史實の列擧や冷靜な批判をなさ

ず教師は燃ゆるが如き熱辯を揮つて民族の歴史を最も具體的に描き出して生きた過去の國民生活を眼前の現代生活を目撃するやうに如實に會得させようとする。要は國史を通して我が民族の精神に共鳴させ其の共鳴してゐる民族の精神は自己の胸中に潜んでゐる精神と同體であることを發見させ自己の何たることを覺醒せしめるのである。即ち過去の國民生活に發露した國民精神に鳴させて民族の本領を捉へしめよとする。現代の青年をして過去の歴史を了解せしめるには事實を具體化して宛ら自らそれに遭遇してゐるやうに叙述し現代生活の知識思想感情を以て會得出来るやうにせねばならぬ。即ち死んだ過去に葬られ去つた史實を捉へ來り之を現代に蘇生させて青年各自の現代生活の體驗に訴へて容易了解が出来るやうにせねばならぬ。即ち現代青年が體驗してゐる所に引き較べて國史の史實に共鳴させ祖先や故人の精神と自己の精神と一致共鳴する所を發見させねばならぬ。故に過去の事實を述ぶるにも可成現在の事實を以て理解し得るやうにし過去の人物の理想心情等を現代人の心理を以て理解し得るやうにする。随つて國史の教材は決して表面の事實に止まらず深く其精神的根柢に立入り人の事業を見るにも單に外面に止まらず深く内部に立ち入



り人格の基礎を明にする。英雄の事業を理解するには英雄の心事を解する事が第一である。かく心事に立入つて理解するのはデルタイ一派の精神科學的考察の方法であつて所謂體験に基づく了解法と自ら一致する。現代に於て歴史を見る人は過去の人が體験したと同じ心情になり即ちこれと同じやうな追體験をなして現代人の心意中に過去の歴史の了解が始めて可能と考へるのである。これは現代人を支配する國民精神は過去の同じ民族を支配した國民精神と同じ者であると假定するもので現代人を支配する國民精神を過去の國史の中に見出すことが出来ると見る。これが即ち現代人の心理を以て過去の國史を了解するのである。かく解釋すれば國史によつて會得した國民精神によつて現代生活を了解する事も可能となつて来る。過去に生きてゐた精神は尙ほ現在にも生きてゐる。國民は過去現在を貫いた自己を見出すことが出来る。かくの如く眞に國史を作り出す大精神に洞徹して國史の了解が十分であり國民生活の了解も國民精神の作興も可能である。例へば上代希臘史の如き外國歴史を授ける場合でも史實を述べる事は其目的ではない。希臘人が自由を愛し名譽を重んずる等の精神的根柢に觸れる事が目的であつてやがて之を自國の國民生活に關係をつ

けて青年の心情を感激せしめ同時に自國の國民精神作興の助とする。又獨逸のフリドリッヒ大王の話をするにも彼の業績は如何なる人格によつて成遂げられたかを明にする事が眼目で之によつて青年の心眼を開き人格向上の刺戟となすのである。斯の如き歴史教授をなし得るには教師其の人の注文が容易でない。學識が該博深遠であるといふ事は必ずしも此注文を充たすに足らぬ。青年を感激共鳴さすには教師其人の熱情と確信とがなければならぬ。國民精神に乏しい人が青年の國民精神を喚起する事は不可能である。熱烈な愛國心を喚起しようとする教師は自ら熱烈な愛國心の所有者でなければならぬ。歴史教師の資格は學識よりも人格に重きを置かねばならぬ。其の口から迸り出る熱誠の語は強い人格を背景とせねば到底青年を動かすには足らぬ。一言にして之を盡せば博學の人よりは血あり熱あり涙ある人でなければならぬ。とも角も國民高等學校の國史は史實の外面的關係よりも之を生み出した内面的關係に徹底して人物人格を根本的に了解して青年の人格修養の助としようとするのであるから専門家の冷靜乾燥な學術的研究とは全く其の趣を異にする。これは歐洲大戰終結の前年に獨逸のテオドル・リットが公にした「歴史と生活」といふ著書に



公にした意見と自ら一致する。これは過去の歴史を現代生活に活かして意義あり価値ありしめる所以である。青年の心情を動かして其の國民精神を作興する事が國民高等學校の國史教授の眼目であるから國民生活に没交渉のやうな歴史は少しも顧みない。年代の順に遺漏なく系統的組織的に叙述するやうな事はない。大切な事は詳細に述べ不必要な事は全く省いて仕舞ふ。其の叙述は必ず國民の生活を立場とし其の文化生活との關係を明かにする。これは特殊の歴史的教授法である。歴史教授は國史に止まらず北歐諸國の歴史から進んで世界史に及ぶが要は自國の國民生活を會得し國民精神を作興するにある。

(二) 國語及國文 グルトウイツヒは自ら詩人であり自作の詩が廣く國民に讀まれ歌はれる所から國民高等學校に於て詩の價值は極めて重大である。詩も民謡も言葉の美よりも其の言ひ表はしてゐる思想感情が大切である。國史に籠つた精神と國語國文に籠つた精神は同じ民族の精神である。我等は國史と同じく國文を通して國民精神に接觸して其の感化を受ける事が出来る。詩は國民發展の上には重大な關係を有するものであつて國民は詩を通して偉大なる眞理を直感し又高尚な思想感情に就いて靈感を得ることが出来る。神話

の教授も國史と共に國民的感情を振起するには大きな力となる。

國語の教授としては國民生活に於て國語を自由自在に而かも正確に活用することに重きを置く。これは昔の農民には多く輕視されてゐた點であつて國民高等學校では青年に思想發表の能力を養ふ事には多大の力を注いでゐる。これは言ふまでもなく國民生活の實際の要求に應ぜんとするのである。

國語練習の方法は主として作文と演説とである。これは小學校の國語教授を其の儘に繼續するのでもなければ少し程度を高めたのでもない。その練習の目的は全く國民生活の立場から出てゐる。随つて作文も演説も國民生活と没交渉のやうな題目を選んで思想や言葉の遊戯をするのではない。其の題材は青年が各自痛切に體驗する事や自ら本當に考へてゐる事を自由に且つ正確に書き表はし又は言はすことが眼目である。郷土の山水や農村生活の狀況時事問題その他、自己の胸中を往來する實際の思想感情に其の材料を求めしめる。尙學校で學習した所や見聞した事についても研究發表せしめ國語によつて自己を主張し、自己を肯定する能力を養ふ。



文法や語法などを授けることも文法語法の知識を授けるのが目的ではなくて思想の發表を正確にならしめる手段に過ぎぬ。國民としての自己表現が飽くまで最後の目的である。

國語の外に獨語英語をも授ける。獨語を學ぶ者は英語の約四分の一位である。

(三) 社會科 法制經濟の概要、社會問題の討究等で此等は凡て國民の共同生活の理を會得せしめる爲である。此等は孰れも時勢の要求に應じて最近に發達したものである。

(四) 自然科學及び數學 自然科學の教授法はアスコフ國民高等學校が昇格された際に新に招聘された新進科學者ラクルの立案に係るアスコフ教授法が廣く行はれてゐる。これは歴史の教授法を自然科學及び數學に應用したものであつて短期間に其知識を系統的に授けることは國史や世界史を科學的系統に教授することと同様に不可能の事業である。國史の教授が廣く國史に通曉せしめるよりは國史を作り出す國民の精神を把握せしめ現在及び將來の國民生活の原動力を自覺せしめ一層意義ある國史を開拓する事を眼目としたやうに自然科學や數學の教授に於ても此方面の高尙新奇の知識を多量に傳授することよりも此等の法則や知識が人間生活の如何なる必要から探求せられ又如何にして發見せられたかといふやうな人生即ち社會生活との價值關係を明かにすることに主力を注ぐ、即ち現在の狀態に到達してゐる自然科學、數學の知識を其の儘に授けるのではなく如何にして此の知識に到達したかといふ發生發達の道程を説明して其の人生に對する意義と價值とを明にするのである。例へば數學中の幾何の如きも定理を一一證明することよりもそれが上古埃及に於て年々ナイル河の汎濫に伴ひ土地測量の必要上發達したものであるといふ事を説明する類である。これは數學の歴史的教授法とも名づくべきものである。

自然科學を授けるにも人生との關係に重きを置き法則の發見せられた起原由來を明にする。殊に發見者發明者の心勞と喜悅とに共鳴せしめ青年の研究的精神を鼓舞する。

地理の教授も山川都會港灣等の名稱位置や地勢氣候產物等の列擧に陥らず獨逸のアレクサンデル・フォン・フムボルトが試みたやうに自然と人生との關係を明かにし地理の人文に及ぼす影響を説明することに主力を注ぎ青年をして自らか地理に關する研究心をそゝるやうにする。

(五) 唱歌 丁抹人は歌ひつゝ仕事する事を好む民族である。これはゲルマン人種に共通



と言はれるし又人類に共通とも言へる。各國の民謡はそれである。我が國の田植謡、舟謡、馬子唄、子守唄等は人情の眞實な發露と見てよからう。此等は日本の仕事と歌とピッタリと一致し喜んで歌ふ如く仕事を樂しむ所に麗はしきがある。國民高等學校はこの點を捉へてゐる。國民高等學校では毎日朝食後教師生徒を合せ全校の生徒が一齊に合唱する。其の歌詞には讚美歌もあり詩もあり民謡もある。就中グルンドウイツヒの作に係るものが多い。國民高等學校の教育から云へば唱歌の價値は極めて大きい。これは決して普通の學校の一科目たる唱歌のやうに軽く見るべきものではなく寧ろ古代希臘の音樂にも比すべきであると思ふ。國民高等學校の唱歌の目的は音樂を授けるといふよりも情熱時代の青年の意氣を鼓舞し其の感情を淨化する事が目的であり而かも最も有效に此の目的を達成してゐる。歌詞はグルウトウイツヒの作が多いやうに凡て學校教育の精神と本領とを寫したものである。グルントウイツヒが國文殊に詩を通して國民精神を鼓舞作興するといふのは國文の書物を講釋するのではなく實は此唱歌を通してゐるのである。如何なる國でも民謡ほど強く國民の心情に響くものはない。教師生徒が一所になつて心ゆくばかりに國民の理想を

籠め其の熱情を發露した詩歌を合唱することが青年に如何なる感動を與へ且つ其の人格の向上を促すかは何人にも想像に難くない。音樂は器樂聲樂の別を問はず耳から直接に心情を動かし憂愁の氣分を快活ならしめ俗惡の感情を淨化して一種の感激を與ふる所に他の方法で容易に企て及び難い長所を持つてゐる。國民高等學校の朝の合唱の作り出す氣分は此の學校の精神其のものであつて敬虔熱誠の純情に滿ち充ちてゐる。此の學校に入學して一たび早朝合唱の氣分を味つたものは終生之を忘れようとしても忘れる事が出来ぬそうである。中には追想するにも感に迫つて落涙するものがあるといふ位である。我等とても學校の式場で君ガ代を合唱する氣分や教會で讚美歌を歌ふ感激から推測すれば略ぼを推察することが出来る。毎日課業に就く前に教師生徒一齊に合唱することは青年の意氣を鼓舞し其の感情を淨化する上に其の日の課業を一層有效ならしめ學校教育を助けることが極めて大きいものと見ねばならぬ。唱歌は一科目と見るよりも寧ろ學校の大精神を表はした一面と言はねばならぬ。民謡の合唱は學校内のみならず廣く農村にも普及してゐる。

(六) 體操 國民高等學校創設の當時には體操は餘りに顧慮されてゐなかつた。こ



これは國民高等學校に限らず當時世界各國の學校の風潮であつた。瑞典式の體操が歐洲に普及するやうになつて丁抹は瑞典に接近してゐた關係もありリング式の體操が國民高等學校に採用せられ非常の熱心を以て實行された。獨逸では兵役に服すれば壯丁は體格が一變する程健康になると言はれてゐたやうに、丁抹では青年が半年間國民高等學校に入學して歸れば體格が見代へる程丈夫になると言はれてゐる。元氣旺盛の青年は在學中精神を籠めて體操に勵む。體操は必修科ではないが毎日一回づゝあつて一同喜び勇んで出席し缺席するものは一人もない。男子の學期は冬であるから嚴冬學校の周圍は白皚々たる積雪や堅氷に閉されてゐる中に薄衣輕裝の青年が嚴しい寒氣を物とせず氣力をこめて身體を錬磨する様は壯烈を通り越して誠に神々しい姿がある。體操がすんで勇ましく冷水浴を行ひ口々會心の歌を口ずはさむ時は青年愉快は其の絶頂に達する。體操は青年の最も好む時間である。斯くの如く青年の心を引きつけてゐる體操が身體の鍛鍊のみならず人格の鍛鍊にも偉大の影響を與へてゐる事は固より論を俟たぬ。體操と唱歌とを併せて考へれば苟も教育史に通ずる人は何人も希臘の教育が音樂と體操の二科目であつた事を追想せざると得ぬ。

グルントウイツヒは希臘古典の青年教育には反對したが假令今日生存してゐても其の實質に於て古代希臘教育と暗合してゐる此點に於ては決して反對はしないと思ふ。丁抹國で最近著しく死亡率が減少した事も此の體操に負ふ所が少くあるまい。丁抹の農村では各地方に體操協會があつて少くとも毎週二回づゝ練習を行ふ。國民高等學校の出身者は地方の體操協會では中堅人物となつて活躍してゐる。

以上(一)國史(二)國語及國文(三)社會科(四)自然科學及數學(五)唱歌(六)體操を列舉したがこれは他の諸國の學校の課程を法令で定めたやうに固定したものではない。随つて教授要目とか豫定といふやうなものも一定してゐない。教科の内容は學校により教師にとつて一々其の趣を異にするが其の本領として目的とする所に至つては全國を通じて自ら一種の特色を失はない。

### 三 教育法

教育法は校長教師の人格から湧き出でるものであるから教材よりも一層變化が多い。併



し全國を通じて自ら一致する點を簡書條にして見よう。これは多く是迄述べた所に包含されてゐるが今これを一纏めにして整理する。

(一) 宗教的精神 國民高等學校の全生活に敬虔なる宗教的精神が漲つてゐることは此の教育の最も著しい特色である。これはグルントウイツヒの人格から湧きでたもので世界を通じて宗教心が薄らいだと言はれる今日も依然として其生命を保つてゐることは羨ましい。

(二) 自治勤勞の精神 これも同じくグルントウイツヒの精神であるが彼はこれを英國から學び得て來てゐる所が多い事は疑はれぬ。グルントウイツヒは英國人と自國民とを比較して彼に自治勤勞の精神に富んで居る事が其の隆運の根柢であることに感激した。この思想は彼の後半生を一貫してゐるやうに國民高等學校にも充滿してゐる。

(三) 體験主義 體験教育といふ叫びは最近デルタイから出發した精神科學派の教育主義を奉ずる革新家の唱導する所であるが私の見る所では丁抹の國民高等學校では此等の新學說を待たず既に業に八十年前から夙に體験教育を實行してゐると思ふ。私が茲に體験

教育といふのは教師は自己の體験を教育の出發點とし體験に基づく確信を語り且つ之を以て青年を指導し教師自ら泌々と體験したる所を青年に感激體験せしめて同じ確信を得しめようとするのである。前に述べた體験に基づく國史の了解も此の體験教育に外ならぬ。教師は自己の體験によつて理解し得た所を提げ青年の體験に訴へて同様の了解を得しめようとする。即ち自己の追體験を提げて青年の追體験を喚び起さうとする。教師は自己の體験を出發點とするから乾燥無味な理論の講義や冷靜な批評などに止まることはない。其の言ふ事には一々確信と熱情が籠り。教育全體に熱血が迸つてゐる。

(四) 自由講演 グルントウイツヒは舊式の死んだ書物の講讀を排斥し、死したる文字は決して生きた人を作らず、生きた人を教育するものは生きた人間の生きた言葉即ち人格を背景とする活語であつて人格と人格と直面する時にのみ始めて人格感化が行はれると信じたので一切教科書を用ひず教師の生きた言葉即ち自由講演による事が國民高等學校教育の著しい特色である。白熱した人格と人格が觸れ合つて一種の火花を散らすのである。

確信と熱誠とを籠めた言葉の背後には崇高な人格が活躍してゐる。この人格が言葉を通



して驀地に青年の腦裏に徹洞して茲に偉大な感化が行はれる。教師の熱烈な講演は其の熱心の極に達すれば神の託宣のやうな神々しき態度を執る。其の確信には少しの疑義を許さず況して批判の餘地がない。かゝる講演が情熱時代の青年を鼓舞激動して其の熱血を湧き返らす事は言ふまでもない。併し理想的の教師を得る事は固より容易でない。國民高等學校の教師となるには豊かな天分を具へた人でなければならぬことは一般の輿論である。

(五) 質問及び座談 講演が聴衆に一樣に理解されると思ふのは大きな誤である。非常の感動を生じたと思ふ講演でも之を聞いた人に印象したまゝを言はせて見れば講演者も意外に思ふ程に誤解が多い。講演の速記又は筆記を訂正した経験のある人は誰しも我が講演の徹底し難い事と誤解の生じ易い事を痛感せぬ者はない。随つて農村から來た青年に書物によらぬ自由講演に理解し難い點がある事は言ふ迄もない。國民高等學校では講演を徹底さす一法として質問及び座談といふ時間を設けてゐる。學校は通例定員百人内外で講演は一堂に集めて行ふが此の時間には十人前後の小人數に分け教師が分擔して別室で座談的に質問に答へて徹底的に理解が行くやうにする。若し一回ですまねば幾回もつゞけ一人でも

納得の行かぬものがあれば個人的に指導して其の勞を惜まぬ。私は之を個人指導の徹底した方法であると思ひ我が國の思想善導もこゝまで行かぬば淺薄であると思ふ。

(六) 自 修 質問及座談は講演を中心とするが必ずしも講演の範圍内には限らぬ。これに關聯した事は何事によらず質問に應ずる。要は青年をして思想を解し人生を理解せしめるにある。随つて青年が自己の問題とする事で自修によつて解決のつく事柄は可成自修させる。これは固より自治勤勞の精神と一致するもので自ら學び得る事は他人に學ぶよりも自ら學ぶ方に遙かに價値がある。此の見地から自修の時間を設けてゐる。

此の時間に生徒は講演を中心として自己の思想を練り又は作文演説等の準備をもなす。其の他人格修養上有益な自修作業に用ひられてゐる。質問及び座談の問題は通例左の五種に分れてゐる。

### 一 實際問題

日常生活に遭遇する諸問題

實踐道德上の諸問題

理科の諸問題

### 二 歴史問題



社會問題 法制問題 經濟問題

三 國語問題

語意語源問題 國文學問題

四 國民問題

國民教育問題

五 宗教問題

信仰問題 人生問題

生徒は講演を中心として質問座談をなす外其の發意に成る討論演説をなし更に其の思想を練り且つ之を言論に發表する能力を養ふ。

(七) 寄宿制度 寄宿制度は遠方の子弟を收容して而も質素に生活する必要上コールドが校内に寄宿舎を設け生徒を家族同様に取扱つたもので其が期せずして英國の家庭的寄宿舎と一致して、師弟起居飲食を共にして一家團樂の中に圓滿な教育が行はれる事は羨ましい事であつて丁抹國民高等學校の特色であり長所である。此の制度はコールドによつて創

始せられアスコフ校のシュレーデルによつて完成されたことは既に述べた通りである。

## 7 ロスキルデの一例

以上は主として文獻によつて抽象的に叙述したから私は茲に實際に目撃した具體的の一例に就いて少し叙べて見たい。私が視察したのはロスキルデの一枚のみであつて、而かも其の日に校長は不在であり課業が終つて自修の時間であり一日の課業を全部參觀することは出来なかつた。随つて私が茲に記する所も他の部分のやうに直接に教師に聞いた事や文獻から得た所が多い。

ロスキルデは首府コペンハーゲンから程遠からぬ鐵道線路に當る小邑である。學校は邑から約一哩もあらうかと思はれる郊外の丘上にある。此丘陵の東方には下視にロスキルデ灣が入り込んでゐて丘上からは風景もよく夏季には海水浴も出来る。此の學校の創設は比較的近年であつて創立者は私が行つた三年前に死亡した。此の學校の創立者たるブレヅドルフの父はコールドの後任として牧師ビルケダールの家庭教師になつたといふ奇縁があり



而かも彼自身はアスコフ校の出身である。學校の所在地は昔時由緒ある寺院のあつた所で現在の校舍も其の建築様式に象つてあるから、心ある人は建物を見た許りで座ろに往古の歴史を追憶して無量の感慨を催うすのである。往古の寺院が地方文化の淵藪であつたやうに、今日の國民高等學校は文化日進月歩の現代生活の要求に適應して國民に對して同様の任務を盡くしてゐる。即ち依然として其の地方の精神生活の中心である。

校舍（卷頭挿繪參照）は僅か一棟三階建てで南北に兩翼があるのみである。母屋の北端に講堂、北翼に體操場があり、南端に食堂、南翼に校長住宅、談話室が取つてあり、母屋の一階が主に教室に充てられ、二階三階が生徒の寢室になつてゐる。生徒は校長職員と同じ建物の内に起居するので別に寄宿舎と名づける建物はない。校舍は外觀が單純である許りでなく内部の設備にも特に見るべき程のものはない。國民高等學校の本領は其の精神的方面にあるから物質上には何等誇示すべきものを有たぬ。私は此の外觀の簡素質朴な所に學校の尊さが宿つてゐると思ふ。講堂も思つたよりも小規模で田舎の小學校程のものである。定員僅か百名内外の學校の講堂が小規模なのは當り前ではないか。金に飽かして造

つた米國の小學校の講堂や我が大阪の一流小學校の講堂を見馴れた目には寧ろ貧弱な感じをする。併し講堂に掲げたグルントウイツヒヤコールドの肖像に對すれば、其の効績を知る者に取つては、私のやうな極東の孤客さへも自ら頭が下がる。講堂が教會の禮拜堂と同等以上の効用をなしてゐる本校では講堂訓話の實際を見ずとも其の生徒に及ぼす感化をまざまざと想見するに餘がある。シーンとした無人の講堂に佇んでゐれば覺えず森嚴敬虔の念に打たれる。殊に蒼然たる暮色は私に何とも言へぬ神祕的感應を與へた。

國民高等學校の校舍は外觀を賞讃する所ではなくて、其の内部に横溢してゐる熱烈な精神を感得悟入すべき所である。彼の物質萬能主義者には何等の利益を與へかも知れぬが、深く其の精神を感得し得る人には何物にも代へ難き意義と價值とを贈與する。

食堂や談話室の構造を見れば立所に英國の家庭的寄宿制度の學校を連想させる。國民高等學校の内容を少しも知らぬ人でも英國の事情に通ずる人なれば必ず此の連想を起すものと信ずる。眞實を言へば説明をして呉れた教師も流暢な英語を用ひたので私は宛がら英國の學校を見てゐるやうな心持がした。



此の學校の創立者の一家の事績が國民高等學校の創業時代の歴史と密接な關係がある事は生徒に一種特有の感化を與へたものと思はれる。創立校長の父は國民高等學校の殊勳者として又模範校長として全國の農民に敬慕されてゐるコールドの後任者として牧師ビルケダールの家に家庭教師となり、其の牧師の令嬢と結婚した。其の子が即ち創立校長であるから、此の人は幼時からコールドは勿論國民高等學校の精神に就いて徹底的理解を有つてゐた事は言ふまでもない。最近ロスキルデの事が諸書に紹介されてゐるのは一はその爲であらう。尙ほ前に参考書として挙げた丁抹國民高等學校及農學校協會の編纂にかゝる丁抹國民高等學校の書中にも創立校長ブレゾドルフ氏は國民高等學校の一日と題する一篇を寄せて學校生活の内容を紹介してゐる。此の書は本來外國の參觀者視察者の爲に編纂したものである。

丁抹の高等學校は政府の計畫によつて出來上がつたものでないから之を監督指導するやうな法令がない。學校の經營も規則や印刷物で行はれてゐるのでないから、學校視察に行つた遠來の客の土産になるやうな規則や印刷物がない。私は斯くの如く外觀に誇示するも

のが無く視察者の土産になるやうな印刷物が無い所に國民高等學校の本領が存してゐると思ふ。私は前に國民高等學校の本領として（一）農村青年の國民生活訓練所（二）國民精神作興の源泉（三）人格修養の道場（四）國民文化の淵藪の四方面を挙げたが此等は其の孰れの方面に於ても規則や印刷物で其の本領が十分に發揮されようとは思へぬ。徒らに官權を以て鞭撻督勵し或は指揮命令したとても逆も思はしい成績が上がらうとは考へられぬ。國民高等學校は規則づくめの官僚政治の産物ではなくて、飽くまで農民生活に即し其の生活の需要を充たす爲に自然に民間に發達したものである。

國民高等學校は丁抹の農民が其の生活の中から産み出した愛兒に均しいもので、眞に農民の作り出した農民の爲の學校である。丁抹が國辱の領土割讓をなした後にメキメキと國運を挽回して、遂に世界各國から模範農國と賞讃されるやうになつたのは、丁抹の國民が一般に覺醒自覺して昔時北歐を震駭した祖先の意氣を復活したからであつて、此の國民精神作興の源泉は言ふまでもなく國民高等學校である。果して然れば國民高等學校は農民の生んだ愛兒であると言ふよりも寧ろ新丁抹の農民こそ國民高等學校の生んだ愛兒と言は



ねばならぬではないか。とも角も丁抹の農民と國民高等學校は同じ血脈の通うた一身同體の體係を有つてゐる。丁抹農民に取つては國民高等學校は普通の學校といふよりも寧ろ其の生家ともいふべきものである。一般の國民は我が生家の如き親しみと愛着の念を以て國民高等學校を見てゐることは羨ましい限りである。

外國の旅客たる我等が國民高等學校に行つて感ずる所も之と大差はない。佐藤一齋先生が「我自ら感じて而して後に人之を感ず」と言はれたやうに丁抹人の自ら感じてゐる事が異郷の我等にも感通する。クリステン、コールドが淋しい農村に始めて國民高等學校を経營した時に、少數の生徒を學校の内に收容して家族と起居飲食を共にし、打とけて談笑し一家團樂の樂しみを分つた家庭的の氣分は遂に國民高等學校の一般の特色となつた。國民高等學校に一步を踏み込んで第一に感ずるのは、四角張つた學校といふよりは寧ろ打つくりだ家庭といふ氣分である。外國人の我等さへ此の感じを有つ位であるから丁抹人に取つては全く我が生家に居るやうな心易さと樂しさを感じてゐるに相違ない。一家團樂の語を以て形容すべき此の氣分は誠に羨望に堪へぬ。校内の生徒は如何にも樂しげに心易げに見

えて宛ら我が家に居るやうに少しも遠慮するとか窮屈がつてゐる風が無い。生徒相互の間が仲よく親しげに見える許りでなく、師弟の間の親密さも親子か兄弟の間柄のやうな何の飾もない溫味と麗しさに充ちてゐる。而かも教師も生徒も各其の業を樂しんで熱心に努力する様は孰れも渾身の勢力を悉く學業に捧げてゐるかの如く見える。樂んで而かも熱心に學業に努力する人を見ることは何人にも無上の快感をそそるものである。教育のやうな尊い事を樂しんで努力してゐる丁抹の教師に接する事は教育者としては愉快此の上もない。私は多數の學校を視察もし參觀もしたが此の學校に行つた時程教師の態度に悦服した事はない。これは恐らくコールド精神を宛がらに見るのであると思つたが、私も出来る丈け此の心持にあやかりたいと思ひ、今に當時の氣分が忘れられぬ。私は生徒自習の様を見たが、誰も教師が監督してゐるものでもなければ指導してゐるものでもない。圖書室らしき所や教室に二三人づゝ讀書してゐるものもあれば、白紙を前にし字引を手にして文章を作つてゐるものもあり、熱心に體操してゐるものもあつた。孰れも人に鞭撻され又は規則に縛ばられて仕方なしに暇をつぶすのではなく僅か半年間の修業を如何に有効にしようかといふ



熱心から自然に溢れ出てゐる。使用人や婢僕までが給金を節約して入學を希望するのは卒業證書を取る爲でもなければ、就職の資格を作る爲でもなく、全く目前の物質上の利害の念を離れて眞に人間生活の意義の價値とを理解し、一生を有意義に暮さうとする熱心からである。随つて誰から入學を勧誘される事もなく、勿論就學の義務などには束縛されず、全然自發的の自由意志から學校を慕ひ集つて來るのである。其の學習態度の眞面目さや修養の熱心さは此等の點を考へれば自ら明白である。私は教師の態度も生徒の態度も此の位氣持よく感じた事はない。宗教的精神に於ては學校といふよりも寧ろ教會といふ感じがする。其の嚴肅さは家庭的の暖みを以て著しく緩和され少しの窮屈さを感じしめぬ。學友同志の和氣靄々の様は一家團樂とも形容することが出来るが、又一面には一種の青年俱樂部とも言ふべき趣を具へてゐる。全國から集まつた青年が互ひに農村の狀況を語り合ひ、共通の問題に就いて意見を交換することは交遊の情誼を厚くすると共に、其間自然に行はれる青年相互の教育は極めて有意義のものである。之を青年の俱樂部と見れば娛樂本位でなくて教育修養を本位として娛樂の要素を兼ねてゐるのである。併し多少娛樂の要素はあつ

ても都會生活の享樂主義や頹廢氣分は少しの痕跡も見えぬ。學校の生活は農村の家庭生活其の物即ち質實其の物である。學校には參觀者の眼につくやうな制服制帽もなく特別な娛樂機關なども設けてない。彼等に取つては、農村と變らぬ共同生活其の物が其の儘娛樂となつてゐる。外見に映する所では農村の青年と國民高等學校生徒との間には何等著しい差別がない。そこらの田園にゐる普通の青年が集つてゐるといふより以上に何等目立つ所はない。我が國の農學校の生徒が一見して如何にも學校生徒らしいのとは大に趣が違ふ。私が忘れようとしても忘れられぬ深い印象は、教師も生徒も心から其の生活を楽しんで、自分の爲してゐる事の外に之より尊いものも價値あるものも無いといふやうな獻身的な態度である。此の態度は心の奥底に深い確信を有するものでなくては有り得ぬ。斯の如き學校の空氣は實に國民高等學校の本領を遺憾なく發揮してゐる所である。

本校の生徒數は當季僅かに五十四名であつた。職員は男子四名女子一名。校長は歴史と理科とを擔任し、前校長末亡人は國文學を授けてゐる。體操には専科の教師がある。生徒の平均年齢は約二十歳で最年長者三十二歳である。學資は一ヶ月約八十タローネで半額給



費の途がある。給費を受けてゐるものは人員の二割乃至二割五分である。今左に此の學校の日課を記す。

午前八時 全校集合唱歌合唱

八時乃至九時 二組に分れ一組は算術一組は體操

九時乃至十時 文法、算術

十時乃至十一時 第一限の組交代

十一時乃至十二時 各科講義毎週二回づゝ文學、近世史、社會問題等

午後二時乃至三時 四組に分れて研究

(一)社會問題 (二)特別社會問題(例へば土地改良問題) (三)理科 (四)外國語

三時半乃至四時半 物理講義

四時半乃至五時半 自修

五時半乃至六時半 國史及國文

日課の配當は學校によつて固より一様でないが、とも角僅か五ヶ月位の短期間に徹底した教育を施そうと言ふのであるから、朝から晩まで仕事が連続してゐて殆んど無休息の状態である。血氣盛りの青年なればこそ實行が出来ると思はれる位である。全員奮闘努力して短期間に速成を期する様は我が國に多く見る所の夏期講習會に類似するものがある。精

神的事業は一寸瞥見した位で真相を把握することは困難である。私のやうに僅かに數時間視察したのは僅かに截斷面に接し其の片鱗を窺ふたに過ぎぬ。併し其の截斷面は眞正な學校生活の一部であり、其の片鱗には生き血が通ひ熱情が籠つてゐるから、我としては學校の生命其物に接觸し臘氣ながら其の精神のあるものを直感した心地がする。我は其の感激から得た印象に基いて此の文を草するのであるが、生來の拙文で十分に我が意中を吐露することが出来ぬ事を遺憾とする。我が同胞で此の學校を參觀した人は多數ある模様である。而かも私より多くの時間を費やし詳細に調査されたやうであるから、根氣よく雜誌や著書を涉獵したならば屹度詳細な參觀記や報告を見出すであらうと思ふ。殊に加藤寛治氏は一年間も此の學校に起臥されたさうであるから同氏の觀察と體得は最も價值あるものであらうと信ずる。茲に私がロスキルデの一例として述べた所は視察の時間が短かゝつたのと時刻が夕刻であつたので極めて不十分であることを告白する。唯書物の上の紹介を讀んだのでなく直接に生命ある實況を見た所に多少の自信を有するのである。多年文學の上で想像していた杜鵑の一聲を山中で待ち焦れた一瞬間に本當に聞いたやうな心地である。



私は上來ちと多過ぎると思ふ程に到る處に所感を述べた。併し教育内容の紹介と之に伴ふ所感とは別問題である。私は最後に丁抹國民高等學校を紹介するに伴つて起つた所感をまとめて結論に代へたいと思ふ。前に述べた所と往々重複することあらば總括の意味として御辛抱を願ふ。

丁抹の國民高等學校は創唱者グルントウイツヒ並に彼の一體心身とも稱すべきコールドの人格を具體化したものであり、學校の内部には此の兩人の熱血が今日も宛がら横溢してゐることは上來屢々詳述した通りであるから、私が國民高等學校に就いて感心した事は同時にグルントウイツヒ及びコールドに感じた事になり、國民高等學校の長所と認め且つ功績と賞讃する所はやがて兩人の長所功績と見ねばならぬ。此兩人は一體分身の關係であるが、若し一人をして之を代表さす時には、勿論グルントウイツヒを挙げねばならぬ。随つて普通にはグルントウイツヒの國民高等學校と言ひ、國民高等學校と言へば必ずグルント

ウイツヒを連想する事になつてゐる。

僭越ながら教育者の末班を汚がす私としては渾身の愛情と勢力とを兒童の教育に傾注し、兒童あるを知つて我あるを忘れた瑞西の大教育家ペスタロッチー先生を理想的教育家として兼々崇拜してゐる。先生の精神を體得したフレイベルは世界の幼兒の爲めに幼稚園を起し、普魯西は先生の教育法を全國に普及して國運復興の根柢を培養し、最近作業學校で世界に雷名を轟かしたケルシエンシュタイナーも根本思想を先生に得たとして其の私淑する所を明かにし、社會的教育學の泰斗ナトルブも、文化教育學の代表者スプランガーも先生を崇敬措く能はざるは誠に然るべきことである。先生を理想的教育者と尊び教育愛の權化と慕ふことは恐らく世界各國の教育者に共通であらうと信ずる。私は丁抹の國民高等學校を研究し、グルントウイツヒとコールドの人物事蹟を知るに及んでペスタロッチー先生に次いで此の兩人を理想的教育家として崇拜景慕するやうになつた。私は本當の教育は自己の利害を忘れた獻身的努力によつて始めて可能であると信ずる。私はペスタロッチー先生の一生を思ひ丁抹の國民高等學校を念ふ時に其の根柢に横はつてゐる獻身的努力に感



動せぬ事はない。以上三人は孰れも均しく教育を以て畢生の事業と思ひつめてゐた。此の世に息が通ふてゐる限りは其の生活から教育といふ事が其の頭腦を去らなかつた。教育に對する獻身的努力は其の一生を貫いてゐた。此の熱誠と努力とに對して彼の不朽の成績が残つた事は後世の教育者をして感奮興起せしめる好個の模範ではあるまいか。就中私はコールドが靴屋の家に生まれ、二箇年間師範學校に學んだ丈の素養を以て教育者となり、惡戰苦闘を盡した生活の體驗に自ら人情の機微に通じ且つ自己の人格を鍛成し、質素勤儉其の物の躬行實踐と敬虔率直の眞情を以て農村青年と起居を共にし、喜憂を分ち一家團樂の樂みの裡に堅實な國民生活の訓練に成功した事に衷心の敬意を表する。グルントウイツヒもコールドもペスタロツチ先生に次いで理想的教育者として並べ稱すべきであるが、コールドは民衆出身の民衆教育者として特に尊敬を値する。私はコールドが丁抹全國の農民に均しく慈父のやうに景慕せられる所以をしみじみと味ひたい。私が先づ第一にグルントウイツヒとコールドをペスタロツチ先生に次ぐ理想的教育者として衷心敬慕の念を捧げるのはやがて國民高等學校が人格修養の道場（本領の第三として擧げた所）として人間の教育に成功してゐる事を讚美するのである。

第二に私は國民精神の作興者としてグルントウイツヒに感服する。彼は意地氣を失つて弛みきつた國民の精神を喚び起し、無氣力、無氣慨、優柔不斷の極に墮した同胞に旺盛な意氣を振作し、遂に丁抹國運動興の氣運を作り出した。こは普魯西が千八百六年イエナの一戰にナポレオンに慘敗し、瞬たく間に首府を占領せられ、屈辱の條約を結ばざるを得ざるに立至つた後、此の國辱を雪ぐの途は民族的自覺を促がすの外なしとの確信に燃えて、彼の有名な「獨逸國民に告ぐ」といふ熱烈な連續講演を聞いて同胞を鼓舞したファイヒテの行動に酷似してゐる。グルントウイツヒが最初國民覺醒の急務を痛感したのは英國旅行中にある事は疑ふ可らざる事實であるが、彼が之を實行する上に於て彼のファイヒテの名著に得る所が多かつた事は識者の夙に認めてゐる所である。グルントウイツヒの最初の思ひつきは當時の沈滯疲弊した自國の状態と活氣充滿意氣旺盛な英國の國運とを比較對照した所に起つてゐる。其後の國情は益々彼の憂國の精神を刺戟し彼の計畫に對する確信を強め、偶々シユレススウイヒ・ホルスタイン二州の領土割讓事件は彼の主唱の意義を一層切實ならし



め、間もなく愛國の氣分が全國に勃興して自然に國民精神作興の事業を助成する結果を齎らした。「國民精神作興の源泉」として起つた國民高等學校の創業時代には非常の經營困難を感じたが領土の割讓から著しく其の趣旨が世人に了解され且つ其の新設が續々と起り全國各地に普及を急がした。領土割讓の問題は當時青年の間に行はれた討論の燒點であり、二州奪還の熱望は身命にかへて青年を奮起せしめる目標であつた。ともかくも領土の割讓は俄かに國民高等學校の發達を促進する背景となつた。國民高等學校は一面に於て「國民精神作興の源泉」たる事を本領とするが、決して大言壯語して一時の快を貪るやうな悲憤慷慨の士を作ることをして満足せぬ。祖國を愛し祖國の興隆を圖る精神を喚起すると共に更に進んで其の精神を發揮し其の目的を達成するに足るべき實力の養成を怠らなかつた。國民高等學校は私が前に本領の第一として擧げたやうに、農村青年の國民生活訓練所として生活のあらゆる方面に堪能なるべき實力を養成し、眞に國運發展に適切有效な具體的の原動力を鍛鍊した。此の意味に於ては丁抹の國民高等學校は各國の小學校と同様の目的を達してゐるから其の教育は上乘の國民教育と名づくべきである。私は第一にグルントウイツ

ヒをペスタロツチー先生に次いで理想的教育者として景慕し、國民高等學校を人格修養の道場として禮讚したが、第二にはグルントウイツヒをファイヒテに比して國民精神の作興者として敬意を表し、國民高等學校を以て國民精神作興の源泉たると共に農村青年の國民生活訓練所たる目的を貫徹してゐる事を嘆美する。約百年前丁抹のグルントウイツヒは獨逸のファイヒテの書を読んで感奮興起して一層熱心に自國の國民精神作興の大任に盡瘁したが、約百年を経て革命後の獨逸は盛んにグルントウイツヒの精神を具體化した國民高等學校の制度を自國に輸入せんと試みてゐる。これは思想の上から見れば正しく逆輸入と言はねばならぬ。ファイヒテの思想が一度丁抹まで輸入されて再び祖國に歡迎されてゐるのである。ファイヒテが獨逸國民を感動せしめ其の國民精神を振作し得たのは其の鋭い眼光が獨逸魂の本領を洞察し確乎として之を把握し得たからである。グルントウイツヒが國民精神作興の大業に成功したのも同じく丁抹人の本領を國史と國文の中に洞察して確乎と之を把握し自己の體驗に基いて國民に之を洞察把握せしめて之を涵養振作せしめ得たからである。これはグルントウイツヒの精神其の物が國民精神の本體と同一であり、彼自身も最も



よく國民の代表者で有り得たからである。最もよく國民精神を發揮する人にして始めてよく同胞の精神を感動し之を作興することを得るのである。所謂我自感而後人感之である。國民高等學校の普及はグルントウイツヒの精神の普及を意味するが、それはやがて丁抹人の父祖傳來の本領の發揮を意味するに外ならぬ。グルントウイツヒの功績は國民が本來具有してゐる國民精神を喚起覺醒し其の本來の眞面目を發揮せしめた所に存する。各國には國民教育の功勞者と稱すべき人が多いが、グルントウイツヒの如きは眞正の意義に於ての國民教育の功勞者である。彼の功績は恰も孤島の燈臺のやうに永遠に煌々たる光明を放つて自國民に感謝されるのみならず異國にも尙ほ其の恩澤に浴するものが盡きぬであらう。

私は第三にグルントウイツヒを青年教育革新者として又國民高等學校を青年訓練所として賞讃したい。私はルソーが兒童の福音傳達者と唱へられるに對してグルントウイツヒを農村青年の福音傳道者と唱へたい。ルソーは大人が子供の心を知らず無闇に大人の眞似をさして其の天賦の美性を害ふことを痛論して子供の自由の爲に萬丈の氣焰を吐いたが、其

の結果は兒童心理の研究を促し、學校教育では子供の心理に適する教育が發達した。グルントウイツヒが心身の異常の發達に伴つて思想感情が激變して志操末だ定まらず道念もまた堅固でなくて動もすれば一生を誤らうとする青年時代を從來の農村青年が無意味に徒費してゐることを見て取り、よくよく青年の心理を理解した上で之に適切で而も最も價値ある訓練の道を開いた。青年の飢えた精神に丁度渴望してゐる糧を與へた。彼の青年の渴望景慕の的となつたのは其の爲である。彼は從來の青年教育法に極力反對したが、彼は決して破壊的の批評を以て傳統に反對する事を以て満足するものではない。彼は着實なる新教育の建設者であつた。彼の青年教育は青年の自由を尊重し且つ其の旺盛な意氣を活用し飽くまで國民の長所を發揮することを忘れなかつた。グルントウイツヒは國民高等學校を青年訓練所となすに成功した點から言へば英國の中等教育を革新して全國に青年教育の模範を示したラグビーのアーノルドに比することが出来る。アーノルドの教育法が英國教育の長所を具體化したものであるとすれば、グルントウイツヒの精神を具體化した國民高等學校の教育は正に丁抹教育の精華として國民の誇となし祖國の光榮とするに足るのである。



國民高等學校は丁抹の青年に公民精神を涵養する點に於ては世界の耳目を聳動した獨逸のケルシエンシュタイナーの公民教育の主義を實現してゐるものと見ても差支ない。ケルシエンシュタイナーは勿論グルントウイツヒより後に出たものであるが、國民高等學校を研究した上で其の主義を立てたものでもなければグルントウイツヒから學んだものではないが、青年に公民教育を授ける趣旨に於ては符節を合する如く一致する。ケルシエンシュタイナーが公民教育論で懸賞を得たのは小學校を卒業してから兵役に服するまでの青年を如何に教育すべきかといふ問題の解答であつた。丁抹の國民高等學校も丁度同じ問題に觸れてゐる。而かも自國の農村生活の實情に即し、而かもよく國民性の長所を發揮するやうに青年訓練所の制度を確立してゐる所に國民高等學校の本質と特色とが存する。丁抹の國民高等學校は青年訓練所として世界の何處に出しても押しも押されもせぬ獨得確實の地歩を占めてゐる。グルントウイツヒは實に世界に稀有な青年教育革新者である。

私は第四に丁抹國民高等學校の効績として國民の性格を改造して之を一變した事を擧げ度い。性格は本來天賦の個性に基礎を置くものであるから個人の天賦の素質によつて一様

でないことは人の心が其の面の同じくないやうである。何萬何億の人が集つても寸分違はぬといふ同一の顔面がないやうに性格も十人十色に異つてゐる。併し又一致共通の點から考察すれば人間が他の獸類に比して萬人共通な人間性を具へてゐることが争はれぬ事實であるやうに、國をなしてゐる民族に就いて考察しても同様に共通一致の性質がある。これが國民に共通な國民性である。國民性は他の民族とは區別の目標となるが同一民族には共通である。國民性の存在も今日では世界の公認周知せる事實と見て差支あるまい。殊に毛色の變つた外國人に接し又は非常に生活状態や社會の事情を異にした國へ行つて見れば此の共通の國民性が著しく目立つてどの人も全く同じやうに見える許りで個性の相違には殆んど氣がつかぬ。黒人は皆同じ黒人に見え白人は皆同じ白人であると思ふ類である。これは自己の國民性と他の國民性との對照から自然に起る所感である。外國に行つて自國と異なつた著しい共通點を見出せば必ず強い注意を惹くものである。昔し人は個人でも生まれつきの氣質は變更が出来ぬものと考へたやうに國民性も固定硬化して變化すべからざるものゝやうに考へ、國民性だから短所を知りつゝも仕方がないと諦める向も少くない。長



所に富んだ國民は國民性を永遠不易のものとするのが誠に好都合であるが短處を暴露した國民にとつては左様に考へる事は禍此の上もない。國民の短處が固定硬化して變化すべからざるものと決定すればその國民は悲觀失望の極益々墮落頽廢の淵に沈むより外は道はないのである。個人の性格が其の修養によりて生活状態によつて著しく變化改造される様に國民の性格にも同様に變化改造が起り得る事は丁抹の國民高等學校の實例が最もよく證明してゐると思ふ。只國民性格の改造に至つては個人の性格の改造に比して遙かに困難であり且つ遠大の計畫と努力を要する。少數の個人のみならず國民全體が同一の理想に向つて修養の努力を積み協心戮力して其の成績を收むることは決して一朝一夕の仕事ではない。尙ほ國民全體の生活状態の向上に伴つて自然に起る性格の變化も決して短期に於て見る事は出来ぬ。而かも此絶大の難事をば丁抹が百年足らずの比較的短期間に於て見事に成就し得た事は國民高等學校の驚くべき成績であり、我々はいやが上にグルントウイツヒの卓見に感服し、進んで國民高等學校が如何にして此の至難の大業を成遂し得たかといふ道行について研究し度いといふ願望を起さざる能はざる所である。グルントウイツヒの壯時

に於ける彼の租國は、國民の意氣極度に銷沈し、國運は見る見る衰退に向ひ、國民には奮勵努力の精神もなければ自尊心もなく、優柔無氣力の爲に氣分が全體として薄暗く陰鬱であり、猜忌心や僻み根性が深くて容易に他人を信用する事が出来ず、最も著しく弱小國民の短處を暴露してゐた。グルントウイツヒは一方には國史の研究によつて祖先の發揮した剛健勇壯な氣魂や美點に共鳴して確乎として國民精神の長所を把握し、又自國と血統が近く而も當時元氣潑刺意氣旺盛な英國國民を見て同胞の心に眠つてゐる祖先傳來の精神を興起覺醒せねばならぬといふ願望がむら／＼と起つて、これが彼の畢生の事業を成さしむるに至つた。グルントウイツヒの熱心と努力は國內の四方に起つた同志の共鳴によつて酬われ、又次第に起つて來た國難が背景となつて猛火燎原の勢を以て國民的自覺が普く全國に蔓延し丁抹人は遂に長夜の夢から覺醒して次第に自己本來の面目を發露して來ると共に、久しく暴露して自ら覺らなかつた厭ふべき弱小國民の短處を着々と捨て去るに至つた。絶望は希望となり自暴自棄は奮勵努力に化し優柔不斷は勇壯活潑となり猜忌嫉妬の狹量は相互信賴の宏量となり、苟且偷安の陋習は勤儉力行の美風を生じ、荒地は開墾され民間には隆



隆として産業が起り遂に模範的の信用制度も出来上つた。丁抹の國運が一變したのは其の根柢を求めればどうしても國民性格の改造に歸着し、今更ながらグルントウイツヒの卓見と偉績に感嘆の聲を放たざるを得ぬ。國民精神作興の急を叫ぶ我が國に於て何故に一人のグルントウイツヒ又はコールドを生ぜざるか。假令グルントウイツヒやコールドたらずとも其の精神に共鳴する同志に乏しきか。一時敵國であつた獨逸さへ現時多數の共鳴者を出してゐるではないか。

私は第五に丁抹の國民高等學校が國民に自治協同の精神を養ひ得た効績を特筆したい。此の精神は本來自由の精神に基いたもので、自由の搖籃と呼ばれてゐる英國の本土に於て最も堅實に發達してゐる。グルントウイツヒは兼ねて國史國文の研究によつて北人の民族精神を自覺してゐる折柄として英國に遊んで痛く此の精神に共鳴した。彼の一生の事業は最も正しい意義に於ける自由精神の宣傳と言つても差支ない。彼は自由の宣傳者であると共に飽くまで自由の擁護者である。自由の宣傳者たり擁護者たるグルントウイツヒが國民思想の革新者となることは毫も怪しむに足らぬ。宗教運動に於て彼が丁抹のルーテルと呼ば

れるのは其の爲である。彼は固陋な傳統や弊風に反抗して自由の爲に闘ひ宗教界にも教育界にも著しい革新を行つた。國民高等學校の事業に於ては此の効績は極めて顯著である。彼が青年の自由を尙び強制拘束は勿論、少しの督勵勸誘を用ひず全然自發的に入學するやうに仕向け、學校の内にも外形上の規則や規律で壓迫威嚇する様な手を避け、全然生徒等の自治自制によつて一致協同して規律を維持する訓練の道を開いた。家庭生活と思はれる程の學校の共同生活はやがて生きた國民生活の訓練として青年に自治協同の精神を養成した。換言すれば青年は窮窟な傳統や法規から解放された自由民として伸び／＼とした共同生活を學んだ。青年は自由を與へられた事によつてよく自己の責任を自覺し、自己の創意により自分の事を自分で處置する獨立自營の途を學んだ。彼等は心ずしも他人の指導鞭撻を待たず獨立に自ら考へ自ら運命を開拓する自立自恃の精神を養ひ得た。全國の國民高等學校に於て養成した自治協同の精神に積り積つて全國の農民に普及し遂に農業國難を見事に切抜ける好結果を生み出した。今から約五十年前に丁抹の主要農産物であつた小麥が暴落して、丁抹人は歐洲の市場で他國と太刀打が出来なくなつて若し其儘にして置けば農



家自滅の悲境に陥る所であつた。併し丁抹國民は、國民高等學校で養ひ得た自治協同の精神によつて他に有利の産業を見出し、全國の協同に依て信用を基礎とした産業組合を作り、小麥の代りにバターとベーコンの名産を作り出し、優に國難を脱し却つて他國羨望の的となつた。今日では優良高價なバター、ベーコンを輸出して廉價の小麥を輸入する有様である。彼は領土割讓に刺戟されて熱烈の愛國心を喚起し、國家危急存亡の秋には學國一致して進んで祖國の運命を開拓するといふ精神が十分に徹底したので、平時の經濟戰に於ても農民は運命に盲從して安閑として自滅を招くやうな愚を演ぜず、自ら恃み自ら努め著々として自ら進むべき途を見出した。これは實に國民高等學校が全國の農村青年に養成した自治協同の精神の結んだ美果ではないか。

私は第六に丁抹の國民高等學校を、最近各國に唱導される様な民衆本位の文化運動として最も成功したものと見る。グルントウイツヒは、當時高等教育を受けてゐた青年は上流有産階級の少數に限られ大多數の民衆青年は全く顧られず、人間の一生中最も大切な時期を無意味に空費してゐる事に憤慨した。都市と農村とを問はず、全國の各階級を通じて大學に

在學する青年と同年輩の青年に一樣に高等教育を授けて眞に國家有用の人材を養成しようといふのが彼の最初の理想であつた。これは一種の秀才教育であるが、實際に發達した國民高等學校は最初の理想とは違つて、コールドの努力による農村生活の實情に即した農民學校であつた。丁抹の人口約三百萬中の約四割は都會生活を營んでゐるが、現今約八十の國民高等學校は全部農村に存在し、其の生徒も大部分農民の子弟であつて都會人は極めて少數で殆んど數へるに足らぬ程である。隨つて國民高等學校は事實上農民の學校と言ふべきである。百年前の農民は無教育であつた爲に他國の農民と同じく政治上にも社會上にも其地位が極めて低かつたが、現在の丁抹では國民高等學校の出身者が代議士にもなれば、地方の有力者たるは勿論中央政府の大臣其他重要な官職を占め又産業組合の幹部を組織してゐるといふ有様で、昔の無力な農民階級は國民高等學校の普及によつて事實上國民の指導階級を形成し、却つて昔時の貴族や都人士と位地を代へてゐるのである。昔は心と言ひ度いと思ふ不平や主張があつても政府や公衆に向つて堂々と意見を發表する術を知らず又之を文章に書き表はして輿論に訴へる程の力を有たなかつた農民は、國民高等學校で



十分に國語の訓練を経且つ實際問題に就いて徹底的に思想を練り上げてゐるから、今日では何人も議政壇上に立つては堂々と政見を發表し地方に在つては時事問題に就いて輿論に訴へ輿論を喚起する丈の實力を有つてゐる。これは今日世界各國に要求されてゐる民衆教育の最も徹底充實したものではないか。獨逸が革命後に新獨逸にふさはしい教育法として丁抹の國民高等學校を學ぶ趣旨も推測するに難くない。要するに丁抹の國民高等學校は農村青年の徹底した民衆教育である。即ち農村文化の淵藪である。グルントウイツヒとコールドが農村生活に深い理解と同情があつたことは國民文化の源泉としての國民高等學校の發達に缺く可らざる必要條件であり兩人が最もよく之を具へてゐた事が丁抹國民に取つて極めて好都合であつた。殊に國民高等學校が都會に發達せずして農村に發達し、而も農村生活の實情に即したといふ事は農業國たる丁抹にとつては此の上もない仕合せな事情であつた。如何なる國にあつても農民の憬がれてゐる大都會は人生の墓場と言はれ農村は、却つて國民活力の搖籃と稱せられる都會生活は概して衛生に有害であり人間の元氣を消耗するに反し農村生活は之を若返らしめる。斯くして國民の活力は農村に潜み一國の運命は農

村青年が擔うてゐる。此の意味に於て農村青年の國民生活訓練所としての國民高等學校は最近の意味に於ける民衆本位の文化運動と見て極めて意義あり價值あるものと言はねばならぬ。

私は第七に丁抹の國民高等學校の教育は最近に唱道されてゐる體驗教育の主義を既に八十年前から立派に實行してゐる事を特記したい。今日の所謂體驗教育は從來の教育の宿弊として抽象的知識の偏重であつた空虚な形式主義や注入主義に反對して教師及び生徒の具體的の體驗に基いて血の氣の通つた教育を施さうとする要求である。即ち實生活に即して全人格を傾注する教育である。グルントウイツヒの教育上の主張は飽くまで血の出るやうな自己の體驗を出發點として、生徒の心情に突き入り其の體驗に訴へて自發的に人格の向上を圖らしめようとする。これを體驗教育と言はずして何を體驗教育と名づけようか。グルントウイツヒの大精神を具體化し實際化し其の骨組みに肉を付け血を通はしたコールドの教育も自己の體驗に基づいた確乎たる所信を吐露し而も躬行實踐を以て人を率ゐる教育であつた。これも書物や知識に拘泥しない生きた教育であつて、同じく體驗教育と名づくべ



きものである。今日の丁抹國民高等學校はグルントウイツヒの精神を具體化し實際化した  
コールド式の教育法に則つてゐる。取りも直さず最近の體驗教育の理論や主張を待たない  
で夙に八十年前から引續いて適切に之を實行してゐるといふ事は偶然の暗合とは言ひなが  
ら平素教育學の理論を研究してゐる私に取つては痛快此の上ない。

私は第八に丁抹國民高等學校が國史國文を重要視する上に於てライプツヒ大學教授テ  
オドール・リットの見解と暗合する事を指摘したい。體驗を重んずる事はヂルタイに基い  
た精神科學派の教育學說の特色である。同じ精神科學派に屬し而かもスプランガーと併ん  
で文化教育學の代表者と見做されてゐるテオドール・リットが歴史教授及び語學教授の任  
務を説く所は其の本質に於て偶然にもグルントウイツヒの意見と一致してゐる。此の兩人  
は時代の上に餘程の隔りがあるからリットがグルントウイツヒに學ぶ所があつたとしても  
グルントウイツヒがリットの學說に基いたものと考へる餘地がない。グルントウイツヒは  
本來宗教家であつて教育學者でもなく實際教育者でもない。彼の主張は自分が歴史家たり  
詩人たる體驗に基づき祖國の狀態が自然に彼を促して此の主張をなさしめた。此の意義に

於て彼は一種の大政治家である。而かも此の大政治家の精神から湧き出た教育上の主張が  
八十年後の今日獨逸の代表的大學教授の學說と符節を合するが如き暗合を生ずる事は誠に  
奇中の奇と言ふべきである。獨逸文化を中心教材とする新設中等學校も亦然りである。

グルントウイツヒは意氣鎖沈した同胞の精神を作興して國運の復活を圖る手段として國  
史と國文の教授に重きを置いた事は前にも述べた通りであるが、リットはヂルタイの體驗  
に基く歴史の了解の學說を祖述し精神科學の上から歴史教授と言語教授の任務を説いた。  
リットが「歴史と生活」と題して此の學說を發表したのは歐洲大戰勃發後第四年即ち休戦  
の前年に當る千九百十七年であつた。半年間も續いたら歐洲の國といふ國は經濟的に破滅  
して仕舞ふのであらうと豫想された大戰は半年所か二年経つても三年経つても終局がつか  
ぬ。一ヶ月以内に疾風迅雷の勢を以て巴里を占領するといふ多年の研究に成つた獨逸の作  
戦計畫は容易く其の效を奏せなかつた。大戰が意外に長引いて兩軍の勝負は宛がら迷宮に  
彷徨する如く何人も逆賭することが出來ず、獨逸は開戦當時の銳氣を挫じかれ國力は次第  
に枯涸して國民の意氣も漸次に銷沈に傾き國家興亡の危機が目を逐ふて迫り來つて憂國の



士を苦心焦慮せしめた。此の國運の瀬戸際に已むに已まれぬ愛國心に促されてリットが著はしたのが「歴史と生活」の名著である。リットは現代人の心を以て過去の歴史を了解することによつて現在生活の意義を會得し、過去の國民生活の中に國民の現在の行動を指導すべき光明を見出し且つ其の規範とすべき理想や價值を把握する事が出来るから、過去の生活を了解することによつて現在の生活を作り出す意義を會意せしめることが歴史教授の任務であると考へた。リットは歴史を單に過ぎ去つた事實と見ず十分に其の意義を了解すれば恰も自己の行爲であるかの如くに會得し自ら歴史中の人物たる事が出来ると思へた。換言すれば歴史教授に依つて國民の自覺を促し、祖先の爲したる行動の中に自己と共通な精神を發見させ、此の過去現在未來を一貫する大精神によつて國民の運命を開拓させようとする根本精神に於てはグルントウイツヒと何等異なる所はない。尙ほ丁抹と獨逸との國情を比較しても此の根本精神を喚起した原因に似通つた所がある。リットは歴史の具體的事實が如實に國民行動の意義や理想を表現してゐるやうに其の國の文學も國民の最も意義あり價值ありと信ずる思想感情を表現してゐるものであるから國語並に外國語の教授

も歴史教授と同様の任務を有してゐる事を論じてゐる。これも偶然に國史を以て國民精神の表現と見る思想と一致してゐる。私はグルントウイツヒとリットとの意見の一致を以て決して尋常一般の偶然一致と看過することは出来ぬ。熱烈な憂國の士が祖國の存亡に直面して潜心致思した所には甚深の意義を有することを忘れてはならぬ。思想國難に直面してゐる我が國民は此の事によつて啓發される所が少くないと思ふ。國史國文の價值は徒らに史實や字句を傳へる所にはない。其の表現してゐる國民精神を捉へ之を青年の心に喚起し之に潑刺たる生命を有たしめる所に價值がある。

私は以上丁抹の國民高等學校を研究してグルントウイツヒの精神を具體化した效績を  
(一) 人間教育 (二) 國民教育 (三) 青年教育 (四) 國民性格の改造 (五) 自治協同の精神の養成 (六) 民衆的文化運動 (七) 體驗教育 (八) 國史國文による教育の八方面から考察して深く感動した所を述べた。此等の感服すべき事柄は決して私一個人に止まるべきではないと思ふ。グルントウイツヒ自身が英國の盛況と其の原動力たる精神に刺戟されて國民高等學校を計畫する動機を起し、又一方にはフィヒテの感化を受けて一層其熱心努力



を旺盛にした事を考へ、又最近革命後の獨逸が偏狹な感情を捨て、小國の教育制度を學んで自國の復興を助けんとしつゝある所を深く考察すれば、丁抹の國民高等學校が極東の我が日本國に取つて他山の石とならぬ理由はないと思ふ。多年獨逸教育を學んでゐた我が邦の教育は今日獨逸の爲す所を見て大に反省考慮すべきではなからうか。丁抹の國民高等學校を精査し來つて眼を我が邦の教育界に轉じて見れば私は第一に青年訓練所の事を思ひ起さざるを得ぬ。此は固より彼と同一のものではないが種々の點に於て共通の事情がある。私は彼の内容が此の經營に參考とすべき事が少くないと思ふ。極めて漠然とした談であるが、青年訓練所の外各種の成人教育の參考となるは勿論の事大正十二年に煥發された國民精神作興の詔書の聖旨を奉體する上には此上もない參考であらう。又共產黨事件によつて刺戟されて世上に喧しい思想善導の一方法として學校教育に於ける國史國文を力説する聲は實際教育家や教育行政家の間に相當有力であると思ふが、其具體的實例としては既に約百年近くも實行して良好の成績を收めてゐる丁抹の國民高等學校は此の上もない參考資料を提供するものと思ふ。私は一寸見て此の位に思ふ位であるから詳細に同校を視察して同

様の感想を抱いた人は我が邦人に少くあるまいと思ふ。農村の中堅青年を養成する目的を以て山梨縣と山形縣で經營されてゐる自治講習所が丁抹の國民高等學校と何等か關係があるか無いか私は之を承知して居らぬ。此の研究を起稿してゐる中途で私は偶然に多年歐洲殊に獨逸に留學して教育制度に精通してゐる服部教一氏に大阪府廳内で邂逅する機會を得た。談が圖らずも此の問題に及んで隔意なく意見を交換して多大の利益を得た。同氏も親しく丁抹の國民高等學校を視察し且つ其の制度を研究して私と同感の點が多かつた。同氏は歸朝後鹿兒島縣と廣島縣に内務部長であつた時代に其の抱負の實行を試みた。當時我が邦の教育制度の範圍内で丁抹の國民高等學校の教育を施し得べきものは農業補習學校のみであつた。同氏は兩縣で郡立農業補習學校として設置した。此等は今日も尙命脈を存してゐるであらうと思はれる。尙服部氏は北海道内務部長の時代には一層其の經營の歩を進めた。北海道は氣候其の他の事情に於て丁抹と類似してゐる點が多いので、學校の名稱も高等國民學校とし、全島に七十校設立の計畫を立て、在職中に十二校を實現したさうである。同氏は目下退官在野の人であるが其の故郷奈良縣に於て同様の學校の設立を計畫して



ゐるとの事である。此の方は一層丁抹のその如く全く私立として自分から進んで其の校長となる決心の由である。此の學校が實現したとすれば同氏の抱負は遺憾なく實現されるに相違ない。服部氏曰く。制度や課程の翻譯的模倣は誠に容易いが精神の貫徹は困難である。學校の實質内容は主義方針や規則によつて出来るといふよりも寧ろ學校の中心人物主として校長の人物次第によつて作り上げられる。例へば農學校出身者が校長になれば自ら農學校風となり師範出身者が經營すれば自ら小學式となる類である。國史國文を教へるにしても從來の學校教師の教授法では到底丁抹國民高等學校と比肩するやうな成績を収めることは出来ぬ。郷里奈良縣では自ら校長となつて他の教員を思ふ通りに訓練しつゝ經營しようとしたのは此の爲である。と此には私も至極同感である。私は今後刮目して同氏の成功を待つのである。ロスキルデに留學した加藤寛治氏は往年山形縣の自治講習所を經營してゐられたが現在では茨城縣友部の日本國民高等學校で又平林廣人氏は静岡縣田方郡の興農學園で其の抱負の實現に努力されてゐることを傳聞した。私は同時に兩氏の成功を祈るものである。尙ほ文部省社會教育官に聞く所によれば丁抹國民高等學校に做つた學校

は現在我が國に三十三校ある由である。要するに他國の教育制度は形式の猿真似をしたのでは決して思はしい効果は收められぬ。若し其の精神を把握して我が精神に融合し自國の實情に即して自國教育の發達を助ける資とすれば必ず何等かの意義と價值とを創造する事が出来ると思ふ。私が丁抹の國民高等學校に就いて述べた所が幸にして我が同胞の中に多少なりとも共鳴者を見出すことが出来たならば私はこれを以て何等か教育界に貢獻する所があつたものとして無上の慰安を得るのである。



昭和四年十二月一日印刷  
昭和四年十二月四日發行

丁抹國民高等學校の研究  
定價金 貳圓

不許

著者 野田 義夫  
發行者 株式會社 同文館  
東京市神田區通神保町一  
森山讓二

複製

印刷者 鷺見 九市  
印刷所 株式會社 秀英舍  
東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地

發行所 (東京市神田區通神保町一) 株式會社 同文館  
發賣所 (東京市神田區通神保町一) 株式會社 三省堂



IT 3767



終